



エコアクション21
認証番号 0011671

環境経営レポート

2023 年度版

(2022 年 12 月～2023 年 11 月)



2023 年 12 月 10 日 発行

金子建設株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲	2
3. 環境安全経営指針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	7
6-1 エコアクション21 実施体制	7
6-2 2023 年度に実施した環境への取組	8
7. 環境経営目標の実績	11
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	12
9. 次年度の計画（環境経営目標、環境経営計画）	14
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	
並びに違反、訴訟等の有無	16
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	17

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 金子建設 株式会社
代表者氏名 代表取締役 金子 泰大
- (2) 所在地 本 社 〒830-0003 福岡県久留米市東櫛原町487番地
福岡支店 〒815-0084 福岡県福岡市南区市崎1丁目1番5号
- (3) 環境管理責任者 工務部長 中村 信太郎
担当者氏名 取締役営業部長 森 安孝
連絡先 TEL 0942-31-0001
FAX 0942-38-1361
E-mail honsha@kaneko-con.co.jp
- (4) 事業の概要 総合建設業
土木工事業、建築工事業、とび・土工事業、電気工事業、
管工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業
福岡県知事許可 (特-3) 第6121号
一級建築士事務所 福岡県知事許可 第1-50247号
宅地建物取引業 福岡県知事許可 (12)第3277号
URL: <http://www.kaneko-con.co.jp/company>
- (5) 事業の規模 (事業年度：12月～翌年11月)
- | 項目 | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 百万円 | 5,883 | 4,224 | 5,002 | 6,055 |
| 従業員数 | 人 | 40 | 39 | 35 | 40 |
| 床面積 | m ² | 1,078 | 1,078 | 1,078 | 1,078 |
- (6) 法人設立年月日 1946年6月創業
- (7) 資本金 9,800万円
- (8) 会計年度 12月～翌11月

2. 認証・登録の対象範囲

・当社におけるエコアクション21の対象範囲は、以下のとおりです。

(1) 認証・登録事業者 金子建設 株式会社



本社



福岡支店

(2) 対象事業所 本社、福岡支店

(3) 対象事業活動

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、電気工事業、管工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業

金子建設は地域に根差した

「総合建設業者」です

当社は、創業した1946年より“お客様第一主義”の理念のもと、各種建築工事・土木工事一式を請負い工事全体のとりまとめを行う総合建設業者です。工事全体の計画を立て、必要な専門工事業や関係会社の手配及びスケジュール調整を行い、発注者や地域住民の窓口として、円滑な工事全体のコーディネートを行います。



yess システム建築

軽さは力

あらゆる業種にエコが求められる時代。
強くて軽い構造で鋼材を減らし、経済性と環境性を両立。
工場・倉庫などあらゆるニーズにお応えします。



環境にやさしい

使用する鋼材が少ないので、鋼材製造時のCO2排出量が少なくなり、環境に優しい建物です。(鋼材が1.0t減ると、CO2は約2.3tの削減となります。)



地震に強い

軽い建物は地震で受ける力が小さいため、地震に強くなります。特に高い位置にある屋根を軽くすることで、地震の影響を小さくできます。



低コスト・短工期

使用する鋼材が少ない分低コストです。また、部品を減らし、現場で施工しやすい構造とすることで、工期も短縮し人件費も削減できます。

※yess システム建築とは … 株式会社横河システム建築独自の鋼構造技術を生かした製品名です。

3. 環境安全経営指針

環境安全経営指針

品質方針

お客様からの信頼獲得と心より喜ばれる良い建物創

1999年11月27日

環境経営方針

建設業としての事業活動を通して、顧客の期待する環境に配慮した
建設物を提供し、地域の環境保全に貢献する企業を目指す

2009年7月1日

安全方針

『安全第一』の理念の下、安全を全てにおいて優先し、危険源の除去と
リスクの低減、働く人の協議及び参加を行い労働災害ゼロを目指し、
無事故で明るい快適な職場環境づくりを目指す

2020年11月28日

上記方針実践のために、我社の行動指針を下記の通り定めます。

【品質行動指針】

- ① 高品質で機能的な建物創り
- ② 全社目標数値と部門目標数値及び個人目標数値の完全達成
- ③ 施工管理の標準化と適正な検査日程を考慮した工程管理
- ④ 建物が持つべき機能と美しさの創造
- ⑤ 高付加価値を創り出すVE提案及び技術提案の実施
- ⑥ クレームへの即対応と原因究明による再発防止により手直し工事をなくす

【環境行動指針】

- ① 省エネルギーと省資源の推進
- ② 排出・産業廃棄物の削減
- ③ グリーン購入の推進
- ④ 再資源の活用
- ⑤ キャリアアップによる人財力の強化
- ⑥ 法規制順守及び社会貢献活動の推進
- ⑦ 環境経営の継続的改善に努める

【安全行動指針】

- ① 安全最優先にてゼロ災の継続
- ② 法規制順守を含む安全衛生管理体制の強化
- ③ 安全で健康的な職場の確保
- ④ 具体的なリスクアセスメントの実施
- ⑤ 労働安全衛生の継続的改善

2009年7月1日 制定
2022年12月16日 改定
金子建設株式会社
代表取締役 金子泰大

4. 環境経営目標

- 環境経営目標は、当社の事業活動を踏まえて、2021年度～2024年度までの中期目標として、以下の7項目15目標をサイト区分（事務所、建設現場、全社）して設定しました。
- 主要な環境負荷である二酸化炭素排出量と一般廃棄物については、基準年（2020年度実績値）を基準に、毎年1%ずつ削減し、2023年度は3%削減を目指しました。
- 事業活動で取り組む本業目標については、「環境配慮事項の提案」「キャリアアップによる人財力の強化」を掲げ、全社をあげて取り組んで環境経営を推進しました。

環境経営目標	単位	サイト区分	基準年	目標				
			2020年度 実績値	2021年度 (△1%)	2022年度 (△2%)	2023年度 (△3%)	2024年度 (△4%)	
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	全社	181,273	179,460	177,640	175,830	174,010	
		事務所	106,745	105,670	104,610	103,540	102,470	
		建設現場	74,528	73,780	73,030	72,290	71,540	
(1)電気使用量の削減	kWh	事務所	33,444	33,110	32,775	32,441	32,106	
		建設現場	152,672	151,145	149,619	148,092	146,565	
(2)ガソリン使用量の削減	L	事務所	39,026	38,636	38,245	37,855	37,465	
(3)軽油使用量の削減		建設現場	529	524	518	513	508	
2 廃棄物排出量の削減								
(1)一般廃棄物排出量の削減 (可燃ごみ)	kg	事務所	673	666	660	653	646	
(2)産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率)	%	建設現場	99	95	95	95	95	
3 水使用量の削減	m ³	事務所	1,341	1,328	1,314	1,301	1,287	
4 グリーン購入の推進	品目数	全社	24	24	24	24	24	
5 環境配慮事項の提案	件	事務所	12	12	12	12	12	
6 キャリアアップによる人財力の強化	人	全社	—	—	—	1	2	
7 地域貢献活動の推進	回	全社	河川 12	河川 12	河川 12	河川 12	河川 12	
			道路 12	道路 12	道路 12	道路 12	道路 12	

備考) ・二酸化炭素排出量の計算に用いた電力の排出係数は、九州電力(株)の2020年度調整後排出係数(0.479 kg-CO₂/kWh)を用いた。

- ・()内の%は基準年実績をベースとした削減率を示す。
- ・化学物質は使用実績が無いため、目標から除外した。
- ・福岡支店の電気使用量とガソリン使用量と水使用量は、事務所に含まれている。
- ・全社とは事務所+建設現場を示す。
- ・河川とは小森野川護岸の橋梁の安全点検、写真取りを行う。
- ・道路とは県道17号線の清掃ゴミ拾いを行う。

5. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（活動項目）を設定して、全社員で取り組みました。

（1）二酸化炭素排出量削減のための取組(責任者: 杉村、中村)

1) 電気使用量の削減

- ① エアコン設定温度を決め、実行する (担当: 杉村)
- ② 使用していないパソコン電源を切る (担当: 杉村)
- ③ 昼休み時間の消灯 (担当: 杉村)
- ④ 照明器具、空調機フィルターの定期清掃 (担当: 杉村)
- ⑤ LED照明への更新 (担当: 杉村)

2) ガソリン使用量の削減

- ① アイドリングストップ手順を決め、実行する (担当: 杉村)
- ② 急発進・急加速・急減速の禁止 (担当: 杉村)
- ③ 不要な荷物は積まない (担当: 杉村)
- ④ 空気圧の適正確認チェック(1ヶ月1回) (担当: 杉村)
- ⑤ ふんわりアクセルエコスタート (担当: 杉村)
- ⑥ カーエアコンの適切な使用 (担当: 杉村)
- ⑦ 早めのアクセルオフ (担当: 杉村)

エコドライブのあれこれ

エコカーや、燃費の良い車に乗りましょう。

電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池自動車といった次世代のエコカーはもちろん、従来のエンジン車でハイブリッド車並みの燃費を達成したエコカーも数多くあります。最新のハイブリッド車やエコドライブで燃費を改善しましょう。

ハイブリッド車・電気自動車のエコドライブ運転方法のコツは？

答え：モーターをできるだけ活用しましょう。

■電圧と回転はモーターの回転数 (RPM) が関係します。モーターの力でゆっくり加速し、エンジンが作動した段階で徐々にモーターの力も弱まってゆきます。その後はアクセルを緩めてできるだけモーターのみで走行することで燃費が良くなります。

■ブレーキは発車のチャンス。減速時に早めにアクセルを離してゆっくりブレーキを踏み、長い距離をかけてゆっくり停止しましょう。やさしくブレーキを踏むとモーターで発電した電力がバッテリーに充電されます。次の発進・減速時に再利用するので燃費が良くなります。

ハイブリッド車のエンジンの稼働領域
(できるだけエンジンの稼働領域を狭くしましょう)

エコドライブ支援ツールを使いましょう。

様々なエコドライブ支援ツールを利用することで簡単にエコドライブに取り組みます。

■「エコドライブランプ」を点灯するように設定しましょう。アクセルをふんわり踏んで運転することになり、燃費が良くなります。

■「エコドライブスイッチ」をONにしましょう。車の状態が変わって、ゆっくりに減速しやすくなり、燃費が良くなります。

エコドライブで交通事故が減ります。

ゆっくりに発進、ゆっくりに停止、十分に減速抑制をとるなどエコドライブを心がけることで運転のゆとりが増え、これにより交通事故の発生率が減少するという効果も期待されます。エコドライブでエコだけでなく安全運転にも一石二鳥です。

エコドライブ10のすすめ

エコドライブとは、燃料消費量やCO₂排出量を削減し、地球温暖化防止につながる「運転技術」の心掛けです。また、エコドライブは、交通事故の削減につながります。燃費消費が少い運転は、お財布にやさしいだけでなく、燃費が良くなる安全な運転でもあります。心にとりもちて走ること、時期にゆとりを持って走ること、これらまた大切なエコドライブの心掛けです。エコドライブは、誰にでも早く始めることができるアクションです。小さな意識を習慣化することで、着実に運転がよくなって、きっと社会もよくなります。できることから、はじめてみましょう。エコドライブ。

- 1 自分の燃費を把握しよう**
自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。自分の燃費を把握すると、自分のエコドライブ改善が実感できます。特に燃費が低いほど燃費が良いエコドライブテクニックを身につけてください。
- 2 ふんわりアクセル「eスタート」**
発進するときは、ゆっくりアクセルを踏んで発進しましょう(発進の3秒で、減速2秒の割合が理想です)。日々の運転に慣れて、やさしい加速を心がけるだけで、10%燃費改善が期待できます。また、急発進・急減速は、安全運転にもつながります。
- 3 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転**
先行車と一定の距離を置くことを心がけましょう。急発進・急減速が少なく、燃費改善の効果が期待できます。また、安全運転にもつながります。
- 4 減速時は早めにアクセルを離そう**
発進のゆるぎを止めることができれば、早めにアクセルを離すことができます。そうするとエンジンブレーキが作動し、燃費改善が期待できます。また、減速するときにアクセルを離すことで、燃費改善が期待できます。
- 5 エアコンの使用は適切に**
車のエアコン(AC)は室内を快適に保つための機能です。運転の必要に応じて、エアコンを適切に使用しましょう。また、夏は、車の窓ガラスを定期的に清掃し、直射日光を遮断し、燃費改善が期待できます。また、冬は、車の窓ガラスを定期的に清掃し、直射日光を遮断し、燃費改善が期待できます。
- 6 ムダなアイドリングはやめよう**
待ち時間や信号待ちの待ち時間などによって、アイドリングが長くなる場合があります。15分間のアイドリングはエアコン(AC)を起動して燃費改善が期待できます。また、アイドリングが長くなることで、燃費改善が期待できます。
- 7 洗濯を避け、余裕をもって出発しよう**
出発前に、洗車・洗機などの必要のない場合は、出発前に洗車を避け、余裕をもって出発しましょう。また、出発前に洗車を避け、余裕をもって出発しましょう。
- 8 タイヤの空気圧から始める点検・整備**
タイヤの空気圧を定期的にチェックしましょう。タイヤの空気圧が適切であれば、燃費改善が期待できます。また、タイヤの空気圧が適切であれば、燃費改善が期待できます。
- 9 不要な荷物はおろそう**
燃費改善のための荷物は、燃費改善のための荷物を減らすことで、燃費改善が期待できます。また、燃費改善のための荷物を減らすことで、燃費改善が期待できます。
- 10 走行の妨げとなる駐車はやめよう**
運転中に、走行の妨げとなる駐車は、燃費改善のための荷物を減らすことで、燃費改善が期待できます。また、燃費改善のための荷物を減らすことで、燃費改善が期待できます。

エコドライブ普及連絡会
(東京都、経済産業省、国土交通省、環境省)

エコドライブ普及連絡会事務局

3) 軽油使用量の削減

- ① アイドリングストップ手順を決め、実行する(担当:中村)
- ② 急発進・急加速・急減速の禁止(担当:中村)
- ③ 不要な荷物は積まない(担当:中村)
- ④ 空気圧の適正確認チェック(1ヶ月1回)(担当:中村)
- ⑤ 暖気運転は3分以内(担当:中村)
- ⑥ 坂道でのエンジンブレーキの使用(担当:中村)
- ⑦ 定期点検の実施(担当:中村)

(2) 廃棄物排出量削減のための取組(責任者:草場、中村)

1) 一般廃棄物排出量の削減

- ① 分別によるリサイクルの推進(担当:草場)
- ② コピー用紙裏紙の利用(担当:草場)

2) 産業廃棄物最終処分量の削減

- ① 分別によるリサイクルの推進(担当:中村)
- ② 転用可能な資材の活用(担当:中村)

(3) 水使用量の削減(責任者:杉村)

- ① 節水ラベルの貼付(担当:杉村)

(4) グリーン購入の推進(責任者:草場、中村)

- ① グリーン相当事務用品の調査購入(担当:草場)
- ② グリーン購入品相当資機材の調査(担当:中村)
- ③ 再生品利用率の把握(担当:中村)

(5) 環境配慮事項の提案(責任者:中村)

- ① 太陽光発電設置の勧め(担当:中村)

(6) キャリアアップによる人財力の強化(責任者:杉村)

- ① 年間資格取得計画の策定(担当:杉村)
- ② 社内の資格取得支援制度の運用(担当:杉村)

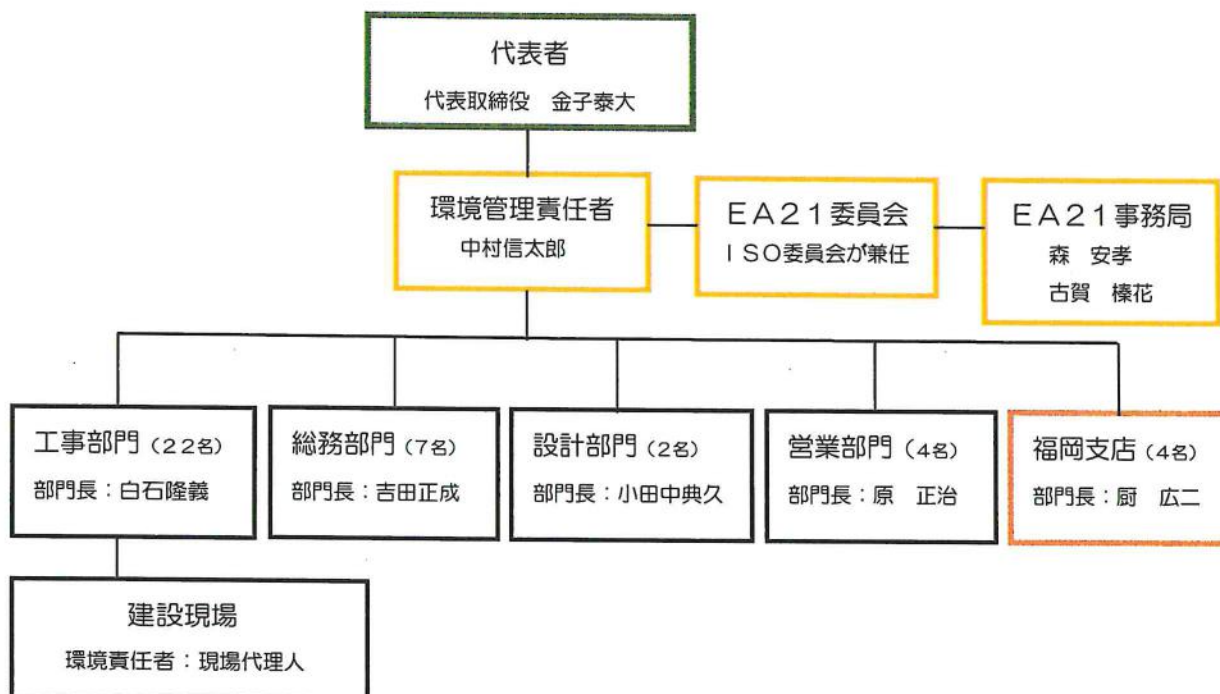
(7) 地域貢献活動の推進(責任者:森)

- ① 地域貢献活動(県道17号線愛護活動(担当:森)
- ② 地域貢献活動(防災協定 小森野川点検)(担当:森)
- ③ 本社、建設現場周辺の清掃活動(担当:杉村)

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

- ・2023年度に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- ・実施に当たっては、社内に次のような実施体制を構築して、それぞれの役割・権限を定めて、全社員が一丸となって取り組みました。

6-1 エコアクション21 実施体制



所属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・経営における課題とチャンスを整理し明確にする ・環境安全経営方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる ・環境経営目標、環境経営計画を作成する ・3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認する ・環境安全方針以外の制改定責任者
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に一度開催し、取組状況の確認・評価を行う ・問題点が発生した場合は、必要な是正処置を検討する
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び資料の作成・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境安全経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する ・環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境安全経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

6-2 2023 年度に実施した環境への取組

・環境経営計画に基づき以下の取組を SDGs（17 のゴール）と紐付けて実施しました。

1. 二酸化炭素排出量の削減



(1) 電気使用量の削減

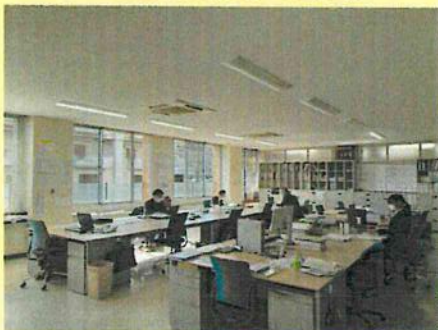
- ・照明の LED 化を計画的に進めており、現在 80% 近い達成率になっています。
- ・エアコン空調温度の管理や、昼休みの消灯、人のいないエリアの部分消灯、使用していないパソコンの電源 OFF 等、無駄な電気の削減に取り組んでいます。
- ・照明器具、エアコンのフィルター掃除を定期的に行っています。



事務所内照明の LED 化



エアコン空調温度の管理



人のいないエリアの部分消灯



昼休みの一斉消灯

(2) 燃料(ガソリン、軽油)使用量の削減



- ・社有車の更新時には、ハイブリッド車や軽自動車の導入を検討し、二酸化炭素排出量の削減も考慮しています。現在 52% の達成率です。
- ・エコドライブ（アイドリング・ストップ、ふんわりアクセル「e スタート」、カーエアコンの適正使用等）による燃料の削減、安全運転に心がけています。
- ・車両の定期点検を実施しています。



ハイブリッド車への更新



月 1 回の空気圧チェック

2. 廃棄物排出量の削減



- 一般廃棄物(事務所ごみ)は、ごみの出し方の案内に従い、資源ごみの分別によるリサイクルを推進しています。また、排出時には可燃ごみと資源ごみの重量を計量し、記録しています。コピー用紙は裏紙利用を徹底して、排出量の削減を行っています。
- 産業廃棄物(建設廃棄物)は、現場で分別を徹底し、マニフェストを発行して適正処理に努めています。建設資材は転用可能な再生材の使用を心がけています。



事務所ごみの分別排出



マニフェストの適正管理

3. 水使用量の削減



4. グリーン購入の推進



- 手洗い場などに節水ラベルを貼り、節水トイレや人感センサーを導入し、節水に努めています。
- 物品購入に当たっては、環境ラベルのある商品を調査し、優先的に購入しています。



節水トイレと人感センサー



事務用品のグリーン購入(再生コピー用紙)

5. 環境配慮事項の提案



- 事業活動を通じて、太陽光発電の設置を進めています。このため自社資材倉庫の屋根や本社ビル前に太陽光発電施設を設置・展示しています。



太陽光発電施設の設置・展示



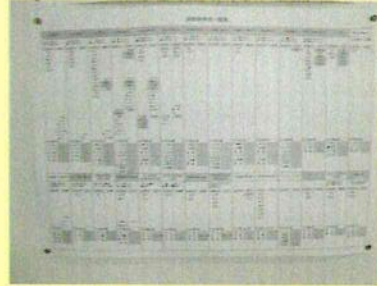
倉庫屋根への太陽光パネル設置

6. キャリアアップによる人財力の強化

- 現在の事業活動を継続・発展させるために、社内にキャリアアップシステムを導入し、有資格者数を増加して人材力の強化を図っています。
- 具体的には、一級建築士や一級建築施工管理技士棟を取得するため、年間資格取得計画を策定して、社内の資格取得支援制度を用いて取得をサポートしています。



資格試験期間表



資格取得者一覧表

7. 地域貢献活動の推進



- 地域貢献活動として、県道 17 号線の愛護運動や小森野川定期点検に取り組むと共に、本社、建設現場周辺の清掃活動を実施しています。



建設現場周辺の清掃活動



小森野川定期点検の活動写真

7. 環境経営目標の実績

- 今回の2023年度運用期間の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した環境経営目標7項目15目標のうち、2項目3目標が未達となりました。
- 当社の最大の環境負荷である二酸化炭素排出量については、建設現場の電気が大幅に削減されたため、本社と建設現場で目標を達成しました。しかし、事務所は電気、ガソリン使用量が目標を上回っているため、今後改善が必要です。
- 本業目標とした「環境配慮事項の提案」と「キャリアアップによる人財力の強化」については、2級建築施工管理技士試験を受けさせて資格を取らせています。
- 今後も高い環境意識を持ち、決められた車両のエコドライブ、定期的な点検等の取組を継続していきます。

環境経営目標	単位	サイト 区分	基準年	2023年度		目標 達成率	達成 状況
			2020年度 実績値	目標値 (△3%)	実績値		
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	全社	181,273	175,830	169,491	103%	○
		事務所	106,745	103,540	112,440	92%	△
		建設現場	74,528	72,290	57,051	127%	◎
	(1)電気使用量の削減	kWh	事務所	33,444	32,441	38,013	85%
		建設現場	152,672	148,092	117,104	126%	◎
(2)ガソリン使用量の削減	L	事務所	39,026	37,855	40,617	93%	△
(3)軽油使用量の削減		建設現場	529	513	371	139%	◎
2 廃棄物排出量の削減							
(1)一般廃棄物排出量の削減 (可燃ごみ)	kg	事務所	673	653	638	102%	○
(2)産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率)	%	建設現場	99	95	99	105%	○
3 水使用量の削減	m ³	事務所	1,341	1,301	1,902	70%	×
4 グリーン購入の推進	品目数	全社	24	24	24	100%	○
5 環境配慮事項の提案	件	事務所	12	12	12	100%	○
6 キャリアアップによる人財 力の強化	人	全社	—	1	1	100%	○
7 地域貢献活動の推進	回	全社	河川 12	河川 12	河川 12	100%	○
			道路 12	道路 12	道路 12	100%	○

備考)・削減目標項目の目標達成率は、【(目標値)/実績値】×100で算出した。

・目標達成状況判定、◎：目標達成率120%以上、○：100%以上120%未満、△：80%以上100%未満、×：80%未満、—：判定不可

・福岡支店の電気使用量(9,123Wh)と水使用量(567 m³)は、事務所使用量に含まれている。

8. 環境経営計画の取組結果とその評価

- ・2023年度運用期間中の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、設定したほとんどの項目で取組が実施でき、概ね良好な結果となっています。
- ・今後も全社でこの取組を継続・発展させ、環境経営目標の全項目達成を目指します。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

環境経営目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価と今後の取組
(1) 電気使用量の削減	事務所	△	① エアコン設定温度を決め、実行する	○	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出量の削減は、全社では目標を達成出来た。今後も決められた取組の周知徹底を図り、取組を継続する。 ・電気使用量は事務所ですべて目標を大きく上回り、更なる節電の取組を徹底していく。なお、建設現場の電気使用量は目標値を大きく下回り、これは受託業務に起因していると考えられた。 ・ガソリン使用量は、目標未達となり、まだまだ削減の努力が必要と思われるので、今後もエコドライブを中心に取組の周知徹底を図り、使用量削減運動を推進する。
			② 使用していないパソコン電源を切る	○	
			③ 昼休み時間の消灯	○	
	建設現場	◎	④ 照明器具、空調機フィルターの定期清掃	△	
			⑤ LED照明への更新	-	
(2) ガソリン使用量の削減	事務所	△	① アイドリングストップ手順を決め、実行する	○	
			② 急発進・急加速・急減速の禁止	○	
			③ 不要な荷物は積まない	○	
			④ 空気圧の適正確認チェック(1ヶ月1回)	○	
			⑤ ふんわりアクセルエコスタート	○	
			⑥ カーエアコンの適切な使用	○	
			⑦ 早めのアクセルオフ	○	
(3) 軽油使用量の削減	建設現場	◎	① アイドリングストップ手順を決め、実行する	○	
			② 急発進・急加速・急減速の禁止	○	
			③ 不要な荷物は積まない	○	
			④ 空気圧の適正確認チェック(1ヶ月1回)	○	
			⑤ 暖気運転は3分以内	○	
			⑥ 坂道でのエンジンブレーキの使用	○	
			⑦ 定期点検の実施(担当:中村)	○	

備考) 達成状況区分 ◎: 目標達成率 120%以上、○: 100%以上 120%未満、△: 80%以上 100%未満、×: 80%未満 - : 判定不可

実施状況区分 ◎: よく実行されている(定着)、○: 実行されている、△: ほぼ実行されている、×: 実行されていない、- : 判定不可

(2) 廃棄物排出量の削減

環境経営目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価と今後の取組
(1) 一般廃棄物排出量の削減 (可燃ごみ)	事務所	○	① 分別によるリサイクルの推進	○	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物排出量の削減は、目標を達成できた。 ・今後も分別の徹底や、コピー用紙の裏紙使用を徹底する。 ・産業廃棄物のリサイクル率は十分に目標を達成できた。 ・今後も現場での分別指導を徹底する。
			② コピー用紙裏紙の利用	○	
(2) 産業廃棄物排出量の削減	建設現場	○	① 分別によるリサイクルの推進	○	
			② 転用可能な資材の活用	○	

(3) 水使用量の削減

環境経営目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価と今後の取組
(1)水使用量の削減	事務所	×	① 節水ラベルの貼付	○	<ul style="list-style-type: none"> ・水使用量は目標値を大きく上回り、未達となった。 ・今後も使用量削減を指導していく。

(4) グリーン購入の推進

環境経営目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価と今後の取組
(1)グリーン購入の推進	事務所	○	① グリーン相当事務用品の調査購入	○	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入の推進は、目標を達成した。 ・今後も、印刷紙と紙ファイルと再生クラッシュャーランのグリーン購入品を購入していく。
	建設現場		① グリーン購入品相当資機材の調査	○	
			② 再生品利用率の把握	○	

(5) 環境配慮事項の提案の推進

環境経営目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価と今後の取組
(1)環境配慮事項の提案	事務所	○	① 太陽光発電設置の勧め	○	<ul style="list-style-type: none"> ・提案件数は目標を達成した。 ・今後も取組を継続する。

(6) キャリアアップによる人財力の強化

環境経営目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価と今後の取組
(1)キャリアアップによる人財力の強化	全社	○	① 年間資格取得計画の策定	○	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得者数の増加目標を達成できた。 ・今後も資格取組支援を継続する
			② 建築施工管理技士勉強会時実施	○	

(7) 地域貢献活動の推進

環境経営目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価と今後の取組
(1)地域貢献活動の推進	全社	○	① 地域貢献活動(県道 17 号線愛護活動)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所周辺と作業現場周辺の清掃活動を実施している。 ・今後も取組を継続する。
			② 地域貢献活動(防災協定 小森野川点検)	○	
			③ 本社、建設現場周辺の清掃活動	○	

9. 次年度の計画(環境経営目標、環境経営計画)

(1) 次年度の環境経営目標

- ・次年度(2024年度)の環境経営目標は以下のとおりです。
- ・水使用量については、2年連続で目標未達となっているため、次年度は使用実態を把握して、必要に応じて見直しの検討を行います。

環境経営目標	単位	サイト 区分	基準年	目標				
			2020年度 実績値	2021年度 (△1%)	2022年度 (△2%)	2023年度 (△3%)	2024年度 (△4%)	
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	全社	181,273	179,460	177,640	175,830	174,010	
		事務所	106,745	105,670	104,610	103,540	102,470	
		建設現場	74,528	73,780	73,030	72,290	71,540	
(1)電気使用量の削減	kWh	事務所	33,444	33,110	32,775	32,441	32,106	
		建設現場	152,672	151,145	149,619	148,092	146,565	
(2)ガソリン使用量の削減	L	事務所	39,026	38,636	38,245	37,855	37,465	
(3)軽油使用量の削減		建設現場	529	524	518	513	508	
2 廃棄物排出量の削減								
(1)一般廃棄物排出量の削減 (可燃ごみ)	kg	事務所	673	666	660	653	646	
(2)産業廃棄物排出量の削減	% (リサイクル率)	建設現場	99	95	95	95	95	
3 水使用量の削減	m ³	事務所	1,341	1,328	1,314	1,301	1,287	
4 グリーン購入の推進	品目数	全社	24	24	24	24	24	
5 環境配慮事項の提案	件	事務所	12	12	12	12	12	
6 キャリアアップによる 人財力の強化	人 (新規資格保有者数)	全社	—	—	—	1	2	
7 地域貢献活動の推進	回	全社	河川 12	河川 12	河川 12	河川 12	河川 12	
			道路 12	道路 12	道路 12	道路 12	道路 12	

備考) ・二酸化炭素排出量の計算に用いた電力の排出係数は、九州電力(株)の2020年度調整後排出係数(0.479 kg-CO₂/kWh)を用いた。
 ・()内の%は基準年実績をベースとした削減率を示す。
 ・化学物質は使用実績が無いため、目標から除外した。
 ・福岡支店の電気使用量とガソリン使用量と水使用量は、事務所に含まれている。
 ・全社とは事務所+建設現場を示す。

(2) 次年度の環境経営計画

・次年度の環境経営計画については、本年度計画を継続することとしました。

なお、取組不良であった照明器具、フィルターの定期清掃は重点項目として取組を強化していきます。

※赤字は重点項目を指す。

環境経営目標	取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	スケジュール
1.二酸化炭素排出量の削減	(1)電気使用量の削減	全社	① エアコン設定温度を決め、実行する	杉村	冷房時期：6～9月 暖房時期：11～3月
			② 使用していないパソコン電源を切る	杉村	通年
			③ 昼休み時間の消灯	杉村	通年
			④ 照明器具、空調機フィルターの定期清掃	杉村	通年
			⑤ LED照明への更新	杉村	通年
	(2)ガソリン使用量の削減	事務所	① アイドリングストップ手順を決め、実行する	杉村	通年
			② 急発進・急加速・急減速の禁止	杉村	通年
			③ 不要な荷物は積まない	杉村	通年
			④ 空気圧の適正確認チェック(1ヶ月1回)	杉村	通年
			⑤ ふんわりアクセルエコスタート	杉村	通年
			⑥ カーエアコンの適切な使用	杉村	通年
			⑦ 早めのアクセルオフ	杉村	通年
	(3)軽油使用量の削減	建設現場	① アイドリングストップ手順を決め、実行する	中村	通年
			② 急発進・急加速・急減速の禁止	中村	通年
			③ 不要な荷物は積まない	中村	通年
			④ 空気圧の適正確認チェック(1ヶ月1回)	中村	通年
			⑤ 暖気運転は3分以内	中村	通年
⑥ 坂道でのエンジンブレーキの使用			中村	通年	
⑦ 定期点検の実施(担当：中村)			中村	通年	
2.廃棄物排出量の削減	(1)一般廃棄物排出量の削減(可燃ごみ)	事務所	① 分別によるリサイクルの推進	草場	通年
			② コピー用紙裏紙の利用	杉村	通年
	(2)産業廃棄物排出量の削減	建設現場	① 分別によるリサイクルの推進	中村	通年
			② 転用可能な資材の活用	中村	通年
3.水使用量の削減	事務所	① 節水ラベルの貼付	杉村	通年	
4.グリーン購入の推進	事務所	① グリーン相当事務用品の調査購入	草場	通年	
	建設現場	① グリーン購入品相当資機材の調査	中村	通年	
		② 再生品利用率の把握	中村	通年	
5.環境配慮事項の提案	事務所	① 太陽光発電設置の勧め	中村	通年	
6.キャリアアップによる人財力の強化	全社	① 年間資格取得計画の策定(誰が、どの資格を、いつ取得)	杉村	通年	
		② 建築施工管理技士勉強会の実施	杉村	通年	
7.地域貢献活動の推進	全社	① 県 地域貢献活動(県道17号線愛護活動)	森	通年	
		② 県 地域貢献活動(防災協定 小森野川点検)	森	通年	
		③ 清掃活動(事務所、現場周辺)	杉村	通年	

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動、製品及びサービスに適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・2023年度運用期間中の事業活動に対して、環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

遵守状況評価区分 ○：遵守 ×：不遵守 ー：該当なし

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物委託基準の遵守	○
	産業廃棄物処理の義務	○
	保管基準の遵守	ー
	産業廃棄物の保管	ー
	保管の届出	ー
	許可業者への委託	○
	委託基準の遵守	○
	排出者責任	○
	多量排出事業者の義務	ー
	管理票（マニフェスト票）の交付	○
	管理票（マニフェスト票）の写しの保存期間	ー
	管理票（マニフェスト票）に関する知事への定期報告	○
	管理票（マニフェスト票）の写しの送付を受けるまでの期間	○
	投棄禁止	○
	焼却禁止	○
廃棄物の処理に関する例外	○	
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	建設業等を営む者の責務	○
	分解解体等実施義務	○
	届出に係る事項の説明義務	○
	再資源化実施義務	○
	発注者への報告等	○
下請負人に対する元請業者の指導	○	
騒音規制法	規制基準の遵守	ー
	特定建設作業の事前届出	ー
振動規制法	規制基準の遵守	ー
	特定建設作業の事前届出	ー
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	自動車の所有者の責務	ー
	使用済自動車の引き渡し義務	ー
	再資源化預託金の預託義務	ー
フロンの使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	特定製品の管理者の義務	○
	第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項	○
	回収依頼書、委託確認書、引取証明書の授受、料金支払	ー
	フロン類の放出禁止	ー
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	事業者及び消費者の義務	ー
	料金の請求	ー
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）	定義	ー
	事業者の責務	○

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 今回の取組の評価結果

- 環境経営目標のうち、事務所の電気使用量は目標達成率が85%、ガソリン使用量は93%で目標未達となったが、いずれも達成できる範囲なので、今後統計を取りながら指導します。
- 水使用量は目標達成率70%と低いため、目標達成に向けた対策を検討します
- 環境関連法規の遵守状況は、問題はありません。

(2) 環境経営システムの評価結果

- 環境安全経営方針、環境経営目標、環境経営計画は、全員に周知・実施されて、目標達成に努力している姿が見られます。今後もなお一層達成する為の強固な意思を持つように指導していきます。
- 環境経営計画の各担当者より、達成出来ていないものへの個別指導を行っていきます。

(3) 見直しの結果

- 現在、エコアクション21の新ガイドラインに基づき、新たな環境安全経営方針、環境経営目標、及び環境経営システムに移行中であり、現計画の運用の中で必要な見直しを行っていく。
- 見直しの視点は以下のとおりである。

環境安全経営方針→環境経営の継続的改善の視点で必要な見直しを検討する。

環境経営目標、環境経営計画→目標の具体的達成方法、ローテーションによる担当者の変更等、主体性と継続性のある取組を目指す。

実施体制→EA21事務局で各部署から資料を集め、ISO委員会に報告・検討する機会を設ける。



代表取締役 金子 泰大